

子育て・教育は稲沢で！

稲沢市の子育て支援施策

稲沢市は「子育て・教育は稲沢で！」
を掲げ、子育てサポート、教育の環境
づくりを進めています！



令和8年4月

稲沢市の子育て支援施策

児童福祉、母子保健、医療、教育関係などの子ども・子育てに関する諸施策を総合的に進めるため「稲沢市こども計画」に基づき、様々な子育て支援施策を実施していきます。

基本理念

思いやり支えあい、地域で育む子育て支援

子育て・教育は稲沢で！ 3つのいいトコ

- 1 経済的にサポート！
- 2 パパママに寄り添います！
- 3 充実した教育環境！



経済的にサポート！

妊娠期	初回産科受診料支援事業	住民税非課税世帯又は生活保護世帯の妊婦に対し、初回産科受診料を補助(上限1万円)
	多胎妊婦健康診査費助成事業	多胎妊婦に対し、5回分の健康診査費用を一部助成
	妊婦のための支援給付	妊娠届出後、妊婦1人あたり5万円、出産予定日8週間頃に胎児1人あたり5万を給付
妊娠期～産後	稲沢おでかけタクシー	妊婦・出産後1年未満の女性が自宅と市内の目的地との間の移動にタクシーを利用した場合の料金半額を市が負担
	妊産婦歯科健診助成事業	妊娠中から産後1年未満の方を対象にした歯科健診について、妊娠中に1回、産後に1回の合計2回分の費用を助成
妊娠期～乳幼児期	母子栄養食品支給事業	生活保護世帯、市民税非課税世帯、所得税非課税世帯の妊産婦及び乳幼児に、一定期間牛乳または粉ミルクを支給
産後	産婦配食サービス	産後1か月未満の産婦を対象に配食サービスを実施 1食あたり250円を補助(申請者に、出産日または出産予定日から60日間有効の利用券を30枚交付)
	産婦健康診査費助成事業	医療機関での産婦健康診査について、2回分の費用を一部助成
	多胎児育児費用助成事業	双子など多胎児を出産された保護者へ子ども1人につき10万円の育児費用助成金を支給(双子20万円、三つ子30万円、以降1人10万円増)
産後～小学生	子ども服や育児用品の回収・譲渡	不要となったベビー服・子ども服(140cmまで)や、ベビーカーなどの大型育児用品を回収し、必要とする方に無料配布
産後～22歳	子ども医療費支給事業	高校生等(18歳年度末)までの子ども医療費を入院・通院ともに完全無料 また大学生など(22歳の年度末までの被扶養者)の入院医療費も無料
乳幼児期	乳児おむつ用品等配布事業	保育園などに未就園の0～2歳児のいるご家庭に1人あたり月2,000円分の稲沢市デジタル商品券「いなPAY」による「稲沢市乳児おむつ用品等購入応援専用ポイント」を支給
乳幼児期	紙おむつ提供事業	公私立保育園などで使用する紙おむつを市が提供

東海初

尾張初

県内初

経済的にサポート！

乳幼児期	紙おむつ回収処分事業	公私立保育園などで、紙おむつの持ち帰り廃止、回収処分費は市が負担	
	第3子保育料完全無料化	高校3年生から数えて第3子以降の保育料を無料化！	
	第2子保育料無料化	高校3年生から数えて第2子(市民税所得割額71,000円未満)の保育料を無料化！	
	保育グッズ応援事業	保育園で使用する教材(名札、自由画帳、クレパス、粘土、道具箱など)を無償化！ 私立保育園などには園児1人あたり2,000円を上限に教材購入費用を補助	R8新規
	0歳児歯科健康診査	生後8か月になる歯が生え始めたお子さんを対象に、歯科健康診査、フッ素塗布などを実施	
	新生児聴覚検査事業	聴覚障害を早期に発見するため、新生児聴覚検査費用の一部助成	
	おたふくかぜワクチン任意接種助成	1歳児のおたふくかぜワクチン接種1回分の費用を一部助成	
	保育園等給食費支援	高校3年生から数えて第2子(市民税所得割額71,000円未満)・高校3年生から数えて第3子以降は無料。それ以外の方は主食代相当分(900円)を市が負担	
小中学生	学校給食費支援事業	小中学校給食費を完全無償化！ 食物アレルギーのため、毎食弁当を持参している児童生徒の保護者にも同様の補助を実施	R8拡充
	就学援助費事業	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者(主に母子家庭や低所得者の世帯を対象)に、学用品費・給食費、オンライン学習通信費などを援助。修学旅行費は実費支給	R8拡充
	特別支援教育就学奨励費事業	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者が負担する費用の一部を、経済状況に応じて補助。修学旅行費については実費の半額まで国の基準に上乗せして支給	R8拡充
	インフルエンザワクチン任意接種費用助成(中3)	中学3年生のインフルエンザワクチン接種1回分の費用を一部助成	
高校生	私立高等学校授業料助成	私立高等学校に在籍する生徒の授業料負担者に対して、年額1万3千円授業料を助成	
	久納奨学基金奨学金制度	勉学の意欲があり、修学のための経済的支援が必要と認められる高等学校等の生徒を対象に、返済の必要のない奨学金(年額12万円)を支給	

パパママに寄り添います！

妊娠前	不妊治療費等補助	一般不妊治療費(保険適用分)補助に加え、体外受精、顕微授精など生殖補助医療費(保険適用分)の自己負担分を補助(年度上限25万円) 43歳以上の方の生殖補助医療費も対象	
	不育症治療費等補助	不育症の治療を支援するため、検査や治療に係る費用の一部を補助(1回の検査治療につき上限15万円×3回)	
妊娠期～乳幼児期	プレママ訪問	妊娠8カ月頃の妊婦がいる家庭を主任児童委員または保健師が訪問し、家庭の状況に応じて出産後に利用できるサービスなどについての情報を提供	R8拡充
	ママパパ教室	妊娠中の生活・栄養・歯科保健・保育の話・妊婦体験ジャケットモデルによる妊婦体験などの講座を実施	
	パパキッチン	これからパパになる方から概ね生後4カ月未満の子をもつパパを対象に家で簡単にできるメニューの調理実習や産後の母の変化に関する講座の実施	
	多胎児育児サポーター派遣	多胎妊婦や多胎児を子育てしている保護者をサポートするため、家事や育児サービスを実施するサポーターを派遣	
	子育て支援センター	公立3か所と私立2か所設置。親子で遊べる場(プレイルーム)の提供、育児に関する相談、子育て関連情報の提供、子育て・子育て支援に関する講習などを実施	
	こども家庭センター(母子保健)	全ての妊婦さんに面接し、出産や子育てに関する情報提供や子育てに関する相談にお応えし、妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援	
妊娠期～小学生	ファミリー・サポート・センター	子育ての手助けをしてほしい依頼会員と、お手伝いをしたい提供会員が互いに協力しながら子育て支援。病児・病後児の預かりも対応。産前産後の家事支援も実施	
妊娠期～中学生	子育て支援アプリ	子育て支援情報・イベント情報・施設マップ・子育てのヒントなど子育てに関する情報を子育て支援アプリ「すくすくいなっぴー」で提供	
妊娠期～18歳未満	子育て世帯訪問支援事業	家事・子育てなどに対して不安や負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラーなどがある家庭の居宅に訪問支援員を派遣し、家事、育児の支援や不安、悩みの傾聴、相談を行う	R8新規
	こども家庭センター(児童福祉)	妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を実施するため、中央子育て支援センター内に設置、母子保健型は保健センターで実施	
産後	産後ケア事業	産後ケア事業を必要とする産後4カ月未満のお母さんとそのお子さんを対象とした、医療機関等での日帰り型及び宿泊型の産後ケアを実施	
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を保健師が訪問し、育児に関する情報提供を行い、支援が必要な家庭に対してサービスを提供	

パパママに寄り添います！

産後	ブックスタート	4か月児健康診査の日に、ブックスタートパック(布製バッグ+絵本2冊+絵本の案内等)を配布。中央図書館・祖父江の森図書館では、配布した絵本の読み聞かせ等も実施	
	新生児木のおもちゃプレゼント事業	新生児に愛知県産ヒノキで作られた木のぬくもりを感じることでのおもちゃをプレゼント	
産後～18歳未満	児童館・児童センター	公立10か所と私立1か所設置。子育て相談や親子遊び・ふれあいタイム、子育て講座などを実施	
乳幼児期	インクルーシブ保育の推進	障害児等支援が必要な児童を公私立問わず市内保育園等全園で受け入れ、園という環境全体で支援するインクルーシブ保育を実施(国の基準より多く保育士を配置)	県内初
	子ども主体のていねいな保育	21世紀を生きる子どもたちに必要な非認知的能力を伸ばすため、保育士が子ども一人一人を理解するよう努めるとともに、子どもが自ら考え挑戦できる人的・物的環境を保育園に整備	
	保育園の一時保育	仕事や病気、用事がある時のほか、リフレッシュしたい場合にも、保育園で一時的に保育サービスを提供	
	一時保育などのキャッシュレス決済導入	利用料の支払いについて、現金でのやりとりからクレジットカード、電子マネー、QRコード決済などの利用を可能とするキャッシュレス決済システムを導入	R8新規
	こども誰でも通園制度	保護者の就労条件を問わず、保育園などに通っていない生後6か月～満3歳未満の子どもを対象に子どもの預かりを実施(子ども1人あたり月10時間まで)	R8新規
	医療的ケア児受入事業	公立保育園3園に看護師各1名を配置し、医療的なケアが必要となる児童の受入体制を確保	
	保育業務支援システム	スマホアプリにより、登降園管理や保護者からの欠席連絡、園からのお知らせの受取りができる仕組みを導入	
小学生	放課後児童クラブ昼食提供事業	小学校の長期休業期間中の昼食準備における保護者の負担を軽減するため、放課後児童クラブ利用者のうち希望される保護者に対しお弁当が注文できるサービスを実施	
施設整備	児童発達支援センター「ひまわり」	こどもの発達やその家族に対する支援や、関係機関との連携・助言などの地域支援を実施	
	病児・病後児保育施設を開所	病気又は病気の回復期にあり、集団保育等が困難な児童を一時的に預かることで、保護者の仕事等と育児の両立を支援	R8新規
	(仮称)祖父江東保育園の整備に向けて	令和13年度の(仮称)祖父江東保育園開園に向けて、建設用地の測量を行うほか、建て替え期間中の園児を山崎保育園と丸甲保育園で受け入れるための環境を整備	R8新規

充実した教育環境！

年長～ 小学1年生	架け橋期の教育充実プログラム	幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行ができるよう、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校の職員の連携や子どもの交流を推進
小学生	セーフティ・プラスワン事業	低学年児童が6時間目まで学校で過ごし、さまざまな学習活動に取り組むとともに、高学年児童と一緒に一斉下校することで、下校時の安全性を高める
	鑑賞教育	市内の小学6年全員が荻須記念美術館を訪問。学芸員の解説により、稲沢市出身の洋画家 荻須高德の生涯や作品等について学ぶ
中学生	ふるさと新発見学習推進事業	中学2年生が、稲沢市に密着したテーマを自身で選択、調査活動を進め、よりよいまちづくりに向けての提言をまとめる
	夏季オリンピック聖火リレー中学生派遣	夏季オリンピック聖火リレーに市内中学生を派遣
	学習支援教室ブリッジルーム	学校の授業や宿題で分からないところを学習支援員(教員経験者)や学習支援補助員などと学習できる(名古屋文理大学文化フォーラム・平和らくらくプラザで実施)
	平和教育事業	3年に1度市内中学生を広島に派遣し、原爆ドームを見学。平和祈念式典などの出席など平和学習を行う
小中学生	タブレットPCによるICT教育推進	1人1台タブレットPCや関連機器を導入し、個別最適な学びを実現するための環境を整備。家庭へ持ち帰り学習に活用するための貸し出しモバイルWi-Fiルーター等も導入
	連絡用アプリの導入	スマホアプリにより、学校からの文書配信の受領や、欠席の連絡等ができる仕組みを導入
	特別支援教育支援員	特別支援が必要な児童生徒に対し、日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う支援員を79名配置
	医療的ケア児受入事業	医療的なケアが必要な児童生徒に対し、看護師資格をもつ支援員を配置し、受け入れ体制を整備
	スクールロイヤー	学校に関わる諸問題に法的な根拠に基づいた助言をいただくスクールロイヤーを導入し、迅速かつ適切に対応する環境を整備
	相談体制の充実	各校にスクールカウンセラーを、中学校3校に心の教室相談員を配置。また社会福祉士等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し相談体制を強化

尾張唯一

県内唯一

R8拡充

充実した教育環境！

	適応支援教室(明日花・明日花東分室)事業	不登校で悩む児童生徒に対し、指導員やホームフレンドが学習支援や体験学習等を通じて、学校復帰や進路の実現をサポート。市内2か所開設
	ホームフレンド in いなざわ	大学生などのスタッフが、不登校や引きこもり状態で悩んでいる児童生徒の話し相手となって、自立をサポート
	給食での地産地消や食育	給食における地産地消の取り組みとして市内産食材の活用や、特別栽培米・有機食材など環境に配慮した農作物の提供による食育の推進(6月:みつば、11~12月:桃かぶ等)
小学生~高校生	優秀ジュニアスポーツ選手支援事業	世界大会や全国大会において活躍が期待される、18歳以下の優秀なジュニアスポーツ選手に対して奨励金(5万円)を交付
施設整備	大里東小学校改築	建築後65年以上経過し老朽化が著しい大里東小学校校舎棟を改築(R5:基本設計 R6:実施設計・解体設計 R7~9:改築工事)
	校舎棟トイレ洋式化	令和9年度の校舎棟トイレの完全洋式化に向け、計画的に設計・整備(R5、6、7実施済:15校、R8工事:清水小、領内小、丸甲小、牧川小、大里中、稲沢西中、R9工事:6校)
	小学校屋内運動場空調整備	中学校に引き続き、小学校の屋内運動場に空調を整備(R8設計、R9整備工事:稲沢東小、下津小、小正小、祖父江小、長岡小、六輪小)

R8新規